

2017. 6. 9

第474回（6月定例）福崎町議会

福崎町長 橋本省三

みなさま おはようございます。

第474回福崎町議会定例会を開催しましたところ、全員ご出席をいただきましてありがとうございます。

6月7日、梅雨入りの発表がありました。雨にぬれ、野山の緑も一段と深みを増し、水田に並ぶ早苗が映える季節となりました。今年の梅雨入りは平年並みとのことですが、気象庁がわざわざ梅雨入りを発表する理由は、「防災上の注意喚起」が目的のことです。

この時期は大雨による災害が発生しやすく、町としても、この日曜日に神戸医療福祉大学の敷地をお借りし、非常備消防の技術力向上に向け水防訓練を実施します。出水期は、消防団、職員をはじめ地域の皆様と協力しながら万全の態勢で備えたいと考えています。

さて、最近の国際情勢を見ますと、決して見逃すことができないのが、北朝鮮のミサイル発射実験です。世界各国の総意を無視し、実験を重ねるキムジョンウン体制に対し、米国は4月末から空母カールビンソンを、その後、ロナルドレーガンを日本海に配備するなど、その監視体制を強めています。日本政府は対話と圧力を基本に問題解決を図る姿勢を示していますが、今の状況が続くと、いつ暴発してもおかしくない状況です。

戦後70年、私たちは不戦を誓い、平和の恩恵を享受し、世界有数の経済大国となりました。そして、豊かで平等な社会を作り上げることができました。私たちとしては、この機会に改めて、平和の尊さを心に刻み、できるだけ早く、平和的な解決がなされることを願うものです。

さて、私は4つの柱に重点をおいて、町政を進めています。

そのひとつ目は福崎駅周辺整備です。

自治会へ出向く行政懇談会や女性委員会などの会議に出席しますと、多くの方々から駅周辺整備についてご意見をいただきます。全ての皆様の意見を取り入れることはできませんが、多くの皆様に喜んでいただける活気ある福崎駅前を目指し努力をしています。周辺には早くもオープンしているお店も現れていますが、生鮮食品、生活用

品等の店舗を誘致してほしいとの要望が多く、その実現のための施策として、今議会にも減額貸付等の規定を設ける条例改正を提案しています。

公共施設としては、新たに駅前駐車場の利用を始めます。駐車場は2か所で、最初に7月から教会南側を供用します。時間借りもできることとしていますので、駐車場の利用はもちろんのこと、パーク アンド ライドによるJR乗降者数の増員に繋がればと期待しています。

2つ目は少子高齢化対策です。

新年度に入り、学童保育の利用者数が前年に比べ大きく伸びています。国は「女性の職業生活における活躍の推進に関する基本方針」を定め、働き方改革などを進めていますが、女性の社会進出が増えてきたのが、この利用者数に現れたのかもしれませんが。今後も、利用者の動向を踏まえ、学童保育の充実に努めていきます。

また、幼稚園の利用者負担額についても、国が示す基準からは大幅に減額しています。

3つ目は安全・安心のまちづくりです。

先日の臨時議会では、国民健康保険税の税率改正について、議員各位の賛同を得ることができました。平成30年度からの都道府県化で制度が大きく変わりますが、今後、夏に向け、国の予算編成、各省庁への次年度予算要求が始まります。いわゆるサマーシーリングですが、国・県からの情報提供には注視し、適切に対応していきます。

介護保険では本年度、平成37年度を見据えた、望ましい超高齢者社会創造への長期ビジョンづくりのために、平成30年度から32年度を目標年度とする第7期事業計画を策定します。また、高齢者福祉計画も併せて策定いたします。

5月14日に町の消防操法大会を開催いたしました。全国大会でも優勝し、町の大会では7連勝をしていた庄分団を破り、大門分団が優勝しました。福田分団は2位に入り、庄分団は3位という結果でした。日々、練習に励んだ各分団の皆様に敬意を表します。庄分団にとっては残念な結果となりましたが、その功績は大きいものがあり、毎年、確実に町の分団全体の操法技術の底上げに寄与していただいたことに感謝を申し上げます。

出水期は、梅雨や台風による集中豪雨などが発生しやすく、低い土地での浸水や河川の増水が起りやすい時期です。県工事関係においては、今年は、桜・上池のため池改修や西谷地区の急傾斜地崩壊対策、治山事業により東田原森本地区の2基目となる治山ダムの工事を、また、福田地区福田川砂防工事については入札も済み、間もなく工事に着工すると聞いています。

4つ目は地方創生です。

もち麦の刈り取りも今週終了しました。今年の出来はよいとの速報が届いていますが、今の段階では何とも言えない状況です。もちむぎのやかたでは、29年産の予約も受付を始めており、はやく皆様の手へ渡るよう準備をすすめていきます。

駅前に、フクちゃんサキちゃんのモニュメントを設置いたしました。この2体によって駅の雰囲気も今まで以上に明るくなりました。その横にはガジロウと将棋を指せるベンチもあります。辻川界限にもスーツを着た天狗のベンチがあります。

この度、ガジロウの登録商標を特許庁へ申請しました。認可後は、ガジロウ人気にあやかり、辻川界限の関連グッズを開発し、指定商品として販売促進につなげていければと考えています。

6市町にまたがる「播但貫く、銀の馬車道 鉾石の道」が文化庁により日本遺産として認定されました。辻川界限はこの銀の馬車道の沿線上にあり、より一層集客力が高まることが期待できます。大庄屋三木家住宅も4月から土曜日、日曜日の公開を始めており、5月には住民の皆様の協力を得、5月人形展を開催することができました。今後もますます多くの観光客が訪れる一大観光地として定着するよう、知恵をしばり各種の施策を進めていきます。

また、福崎町の農業を担う福田高岡地区の基盤整備が本年度から始まります。県からの予算配分が少なかったことから、農林水産局長へお願いに上がりますと、早速、その対応を図っていただいているようです。

総合計画は、「活力にあふれ 風格のある 住みよいまち」をめざしていますが、国や県、議員の皆様や地域の皆様のご支援、ご協力により、着実にその目標に向かって各種の事業が進んでいることうれしく思っています。